

浜の情報：五島水産業普及指導センター
令和3年11月8日

スマート水産業にかかる学習会

令和3年11月5日、下五島地区漁業士会が呼びかけ県水産部水産経営課の主催により、最先端の漁労機器等を駆使した効率的な操業推進を図るスマート水産業の学習会が五島市で開催されました。

講演は、①長崎県総合水産試験場 海洋資源科の北原科長が「定置網漁業における海況予測の活用と漁場診断等について」のテーマで、定置網の漁具被害を及ぼす急潮のメカニズムとその対策、現在開発が進んでいる海況予測モデル等についてと、試験場で取り組んでいる定置網漁場調査や ICT を活用した定置網内の魚群を可視化する技術開発を紹介。②フルノ九州販売株式会社 西九州支店・長崎営業所の森本氏が「最先端の船舶機器について」のテーマで、3D GPS プロッター及び高精細映像魚探のデモ機を持ち込んでの映像の視聴や機能等を紹介。

学習会には、漁業士6名、漁業研修生2名、行政職員5名（五島振興局水産課、五島市水産課）の参加がありました。定置網や船舶機器の話に参加者は熱心に聞き入ったり、興味津々で質問していました。下五島地区でのスマート水産業にかかる学習会の開催は初めてでしたが、今後の漁業においての必要性や重要性を知る良い機会になったと思います。



荒木会長（右）挨拶



講演①の様子



講演②の様子



デモ機を用いた説明